**事　業　報　告　書**

**平成２９年度**

**社会福祉法人　　逢　花**

**特別養護老人ホーム　粟生逢花苑**

**粟生逢花苑　ショートステイ**

**粟生逢花苑　デイサービスセンター**

**粟生逢花苑　ヘルパーステーション**

**粟生逢花苑　定期巡回・随時対応型訪問介護看護**

**粟生逢花苑　在宅介護支援センター**

**ケアハウス　粟生逢花苑**

**●特別養護老人ホーム**

1. **援助目標・利用者ケアの重点**

　●援助目標

～『心地よい今』を提供するために～

①ご利用者に好意的な関心を持った声掛けとスキンシップ

②表情に共感し、今を明るく過ごす。

　●利用者ケアの重点

1. ご利用者に喜びを感じていただける生活の提供
2. 終末期ケアの質の向上
3. **ご利用者の概況**
   1. 年齢別（平成３０年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 65歳  以下 | 66歳～70歳 | 71歳～75歳 | 76歳～80歳 | 81歳～85歳 | 86歳～90歳 | 91歳～95歳 | 96歳  以上 | 合計 |
| 男性 | ０ | ０ | ０ | ２ | １ | ２ | ０ | ０ | ５ |
| 女性 | ０ | ２ | １ | ２ | １１ | １１ | １１ | １１ | ４９ |
| 合計 | ０ | ２ | １ | ４ | １２ | １３ | １１ | １１ | ５４ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平均年齢 | 最高齢 | 最年少 |
| 男性 | ８３.４歳 | ８９歳 | ７６歳 |
| 女性 | ８８.４歳 | １０１歳 | ６７歳 |
| 全体 | ８７.９歳 | ━ | ━ |

* 1. 在苑年数（平成３０年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | １年未満 | １年以上 | ２年以上 | ３年以上 | ４年以上 | ５年以上 | ６年以上 | 合計 |
| 男性 | ０ | ３ | ０ | １ | ０ | １ | ０ | ５ |
| 女性 | １４ | １２ | ６ | ６ | ２ | ４ | ５ | ４９ |
| 合計 | １４ | １５ | ６ | ７ | ２ | ５ | ５ | ５４ |

* 1. 要介護度別（平成３０年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 要介護１ | 要介護２ | 要介護３ | 要介護４ | 要介護５ | 合計 | 平均 |
| 男性 | ０ | ０ | ０ | ５ | ０ | ５ | ４.０ |
| 女性 | ０ | １ | １１ | ２８ | ９ | ４９ | ３.９ |
| 合計 | ０ | １ | １１ | ３３ | ９ | ５４ | ３.９ |

* 1. 入退所状況（月別）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 入所 | ４ | ３ | ２ | １ | ０ | ２ | ０ | ２ | ２ | １ | １ | １ | １９ |
| 退所 | ３ | ２ | ２ | ０ | ０ | ２ | １ | １ | ２ | ２ | ０ | １ | １６ |

* 1. 入院者延べ人数　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 男性 | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ２ | ２ | １ | ０ | ０ | １ | ６ |
| 女性 | ２ | ２ | １ | ２ | ２ | ２ | １ | ２ | ３ | ２ | ２ | ３ | ２４ |
| 合計 | ２ | ２ | １ | ２ | ２ | ２ | ３ | ４ | ４ | ２ | ２ | ４ | ３０ |

* 1. 生活能力別（平成３０年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 男性 | 女性 | 合計 |  |  | | 男性 | 女性 | 合計 |
| 移動　状況 | 自立歩行 | ０ | ０ | ０ | 食事　状況 | 主食 | 普通 | ２ | ２４ | ２６ |
| 杖・歩行器など  （介助必要） | ０ | ２ | ２ | 粥  ソフト食 | ２ | １８ | ２０ |
| 車椅子（自立） | １ | ２２ | ２３ | 副食 | 普通、一口 | １ | １８ | １９ |
| 車椅子（一部介助） | １ | ３ | ４ | キザミ・ソフト  ミキサー食 | ３ | ２４ | ２７ |
| 車椅子（全介助） | ３ | ２２ | ２５ | 経管栄養 | | １ | ７ | ８ |
| ストレッチャー | ０ | ０ | ０ |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 男性 | 女性 | 合計 |  |  | 男性 | 女性 | 合計 |
| 排泄　状況 | トイレ・Ｐトイレ  (自立) | １ | ９ | １０ | 入浴　状況 | 一般浴  （自立） | ０ | ２ | ２ |
| トイレ・Ｐトイレ  （一部・半介助） | １ | １８ | １９ | 機械浴  （座浴） | ３ | ２８ | ３１ |
| トイレ・Ｐトイレ  （全介助） | ０ | ０ | ０ | 機械浴  (ストレッチャー) | ２ | １９ | ２１ |
| おむつ | ３ | ２２ | ２５ |  |  |  |  |

**●デイサービス**

1. **基本方針**

ご利用者が、その有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とし、在宅の要介護者、要支援者等に対し、通所型の各種サービスを提供します。

ご利用者の居宅生活支援、社会的孤立感の解消、心身機能の維持・向上などを図るとともに、ご利用者・ご家族のプライバシーの尊重に万全を期し、ご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図るように努めます。

　●デイサービス・コンセプト

笑顔のたえないデイ、安心・信頼されるデイを目指します。

●デイサービス　平成２９年度スローガン

・『明るく、親切、丁寧』なサービスを提供します。

1. **事業報告**

平成２９年度の稼働率は、『デイサービス利用状況』の通り70.0％となりました。

長年利用して下さるご利用者も多く、その分体力面・機能面など徐々に低下していくご利用者もおられます。お元気な方はもちろん、体力低下・機能低下のある方にも安心して利用していただけるように、介護・ケア技術の向上や環境整備に取り組みました。

機能訓練では、ご利用者がいきいきと在宅生活を送れ、またご家族の介護負担の軽減が図れるように、日常生活動作の維持・向上を目的として個別機能訓練（Ⅱ）に取り組みました。機能訓練は、ケアマネジャー等との連携を重視して行っています。

行事・レクリエーションでは、月行事の充実、日々のレクでも新しいもの、ご利用者が楽しんで参加できるものとなるように、スタッフ皆で考えて行いました。誕生日会の工夫、参加型レクの導入、料理レク・食事レク、小物や手芸、編み物などの物づくり、壁面製作など、笑顔あふれるデイサービスとなるように取り組みました。また、楽しみながら日常生活動作訓練やご利用者同士の交流が図れるように工夫しました。

３０年度も、ご利用者ご家族により一層満足していただけるように、『皆様が何を必要とされているのか？何を求めておられるのか？』を考え、職員が一つになってより良いサービスを提供していきたいと思います。

**●ヘルパーステーション**

1. **基本方針**

ご利用者が、可能な限り在宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を　営むことができるように、入浴、排泄、食事等の身体介護、その他生活全般にわたる援助を行います。また、ご家族の介護負担の軽減につながることを視野に入れつつ、在宅の　　要介護者等に対し、自立支援に向けての援助を行います。

平成２９年４月より１年かけて、介護予防訪問介護は各市町村が実施する介護予防・日常生活支援総合事業に順次移行します。当事業所は各市町村が定める基準や関係法令等の内容を遵守し、第１号訪問事業（訪問型サービス）を行います。

　●ヘルパー　平成２９年度スローガン

・明るく笑顔で援助させていただく！

・利用を喜んでいただけるヘルパーを目指す！

1. **事業内容**
2. 生活習慣や文化などを理解し、ご利用者を違う個性とかけがえのない命を持った尊重すべきひとりの人間として、その人のニーズに合わせた援助に努めました。
3. サービス担当者会議に出席し、ご利用者・ご家族のニーズをよく理解し、心身状態を　把握するとともに、信頼関係をもとに、その人らしい在宅生活の実現に向けて、よりよいサービス・心のケアが提供できるように努めました。
4. 社会との接触を保てるように情報提供を行い、訪問介護サービスがご利用者と社会との窓口となれるような援助に努めました。
5. ケアマネジメントなどの関連サービスとの連携、医療・保健・福祉その他関連領域に従事する者との連携を積極的に図り、協力して行動しました。
6. 予防的な視野を持ち、他職種とも連携しながら、『心身機能』『活動』『参加』などの生活機能の維持・向上が図れるような機能訓練を取り入れるように努めました。
7. ご利用者・ご家族とのコミュニケーションを十分に図り、信頼関係の構築に努めると　ともに、助言や指導、苦情等には迅速に対応し、また改善するように努めました。
8. 職員間の情報共有のため、報告・連絡・相談を徹底しました。
9. サービスの質の向上のため、年間の研修計画を立てて実施するとともに、苑内・苑外研修にも積極的に参加し、職員の資質向上に努めました。

●通常の事業の実施地域･･･小野市・加西市・加東市

**●定期巡回・随時対応型訪問介護看護**

1. **基本方針**

利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、定期的な巡回又は随時通報により利用者の居宅を訪問し、入浴、排泄、食事等の介護、日常生活上の緊急時の対応、その他安心してその居宅において生活を送ることができるように援助を行うとともに、その療養生活を支援し、心身の機能の維持回復を目指します。

行政機関や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、他の居宅サービス事業者、保健・医療・福祉サービスを提供する者と密接に連携・情報交換し、ご利用者の心身状態の変化に合わせて適切なサービスが提供されるように努めます。

1. **事業内容**

①定期巡回サービス

アセスメントに基づき、ヘルパーが一日に複数回訪問するなど、必要な時に必要なサービスを行いました。

②随時対応サービス

24時間365日オペレーター職員を配置し、ご利用者の緊急時やご相談があれば、　　速やかに対応しました。

③随時訪問サービス

24時間365日随時訪問職員を配置し、ご利用者ご家族からの通報でオペレーター　職員が『ヘルパーの訪問が必要』と判断した場合は、速やかにヘルパーがご自宅に　　かけつけました。

④訪問看護サービス

訪問看護が必要な方には連携先の訪問看護ステーションが対応しました。また、　　訪問看護が必要でない方にも、月に1回、看護師がお身体の状態確認に伺いました。

⑤情報の共有

ご家族、関係事業所、職員間の情報共有に『スマケア』というシステムを活用しています。これにより、インターネットを利用可能であれば、リアルタイムに定期巡回サービスご利用時のご利用者の状況を閲覧することができます。

⑥サービスの質の向上

職員個別に研修計画を立てて実施し、サービスの質の向上に努めました。

⑦介護・医療連携推進会議

平成３０年１月１７日に『第１回介護・医療連携推進会議』を開催し、地域住民の代表者や地域の医療関係者、行政や包括センター職員などと意見交換を行いました。

**●ケアハウス**

1. **ご利用者の概況**
   * 1. 年齢別（平成３０年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | 70～75 | 76～80 | 81～85 | 86～90 | 91～95 | 96～100 | 合計 |
| 男性 | ０ | ０ | １ | ０ | ２ | ０ | ３ |
| 女性 | １ | １ | １ | ４ | ３ | ３ | １３ |
| 合計 | １ | １ | ２ | ４ | ５ | ３ | １６ |

* + 1. 要介護度別（平成３０年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 自立 | 要支援１ | 要支援２ | 要介護１ | 要介護２ | 要介護３ | 要介護４ | 要介護５ | 合計 |
| 男性 | ０ | ２ | ０ | ０ | １ | ０ | ０ | ０ | ３ |
| 女性 | １ | ２ | ３ | ５ | １ | ０ | １ | ０ | １３ |
| 合計 | １ | ４ | ３ | ５ | ２ | ０ | １ | ０ | １６ |

1. **ご利用者への援助目標**
2. 日々の生活の中から細かい変化を見逃さない。
3. ナースコール対応は確実に行う。
4. 病状悪化に伴う精神的ケアは、相手の立場・希望を第一に行う。
5. ＡＤＬの低下に伴う事故に注意する。
6. 必要以上に手出し口出しをしない。
7. ご家族への情報提供のために、定期的に個人面談を実施する。
8. 体調不良時など、ご家族にはケアマネジャーとも連携し、密に連絡する。
9. 必要時、関係部署への情報提供を怠らない。
10. 個人情報の保護を徹底する。

●ケアハウス・事務所　平成２９年度スローガン

・大きな声であいさつしよう。

・５Ｓ活動『整理、整頓、清潔、清掃、しつけ』

　（決まり事をきっちり守る）

・１日５個以上ゴミを拾う。

**●在宅介護支援センター**

1. **基本方針**

粟生逢花苑在宅介護支援センターは、『地域包括ケアの推進』を基本方針としています。

この方針は、介護保険法の基本理念の一つとも合致するものです。

小野市内外の行政機関および他事業所と相互に協力し、福祉サービスを必要とする　地域住民が、地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、また住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるように、地域包括ケアの推進に努めます。

　●支援センター　平成２９年度スローガン

・ご利用者様は人生の大先輩です。大切な時間を満足して過ごして

　いただけるように、我々は自己研鑽に努めます。

・地域における介護の発信基地を目指します。

1. **基本業務**

* 高齢者およびそのご家族に対する相談・援助
* 要支援者等および要介護者のケアプラン作成
* 介護保険における申請代行と認定調査
* 在宅高齢者の見守り訪問

1. **業務遂行にあたっての重点**

* 行政機関や地域包括支援センター、その他関係機関との連携
* ケアマネジメントの効果的な実施
* ケアマネジメントのスキルアップ

1. **居宅ケアプラン**（全社協版を使用）
2. 目的

ご利用者が要介護（支援）状態になった場合でも、その有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう配慮して、身体介護その他の生活支援を提供することを目的として、居宅サービス計画書を作成・開示しました。

1. 留意点

居宅サービス計画書の作成にあたっては、ご利用者の自立した日常生活への支援を効果的に行うため、ご利用者の心身状態や家族状況等に応じて、継続的かつ計画的に　　サービスの利用が行われるように配慮しました。

日常生活全般を支援する観点から、介護保険対象外の保健・医療・福祉サービスや、地域住民の自発的活動によるサービスなども含めて計画上に位置付けました。

1. 具体的内容

（１）居宅を訪問してご利用者ご家族に面接、解決すべき課題を把握・分析しました。

（２）ご利用者ご家族のご意向やアセスメント結果に基づき、居宅サービス計画書　　（原案）を作成しました。

（３）サービス担当者会議や担当者への照会等により、原案の内容について担当者から専門的な意見を聴取し、居宅サービス計画書を完成させました。

（４）居宅サービス計画書の内容をご利用者ご家族に説明し、文書により同意を得、　　　開示しました。

（５）計画の実施状況を把握し、必要に応じて計画の変更や事業所との連絡・調整を　　行いました。実施状況の把握にあたっては、特に事情のない限り、少なくとも　　１か月に１回は居宅を訪問して面接し、モニタリングの結果を記録しました。

（６）更新・変更認定があった場合の居宅サービス計画書の作成にあたっては、新規　　作成時と同様に一連の業務を行いました。